

製品名: GalNAc4ST-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11281**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	CHST8
別名	CHST8; Carbohydrate sulfotransferase 8; GalNAc-4-O-sulfotransferase 1; GalNAc-4-ST1; GalNAc4ST-1; N-acetylgalactosamine-4-O-sulfotransferase 1
遺伝子 ID	64377.0
SwissProt ID	Q9H2A9
免疫原	抗血清はヒト CHST8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 341-390

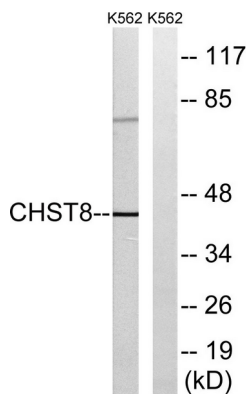
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、硫酸基転移酵素 2 ファミリーに属します。主に下垂体で発現し、ゴルジ膜に局在し

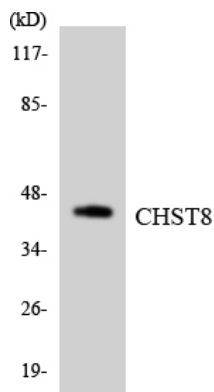
ます。このタンパク質は、N型糖鎖およびO型糖鎖の両方において、非還元性 N-アセチルガラクトサミン (GalNAc) 残基の 4 位への硫酸基転移を触媒します。性ホルモンの産生に必要な黄体形成ホルモン (LH) の GalNAc の硫酸化を担っています。この酵素を欠損したマウスでは、循環 LH 濃度の上昇と、雄雌ともに性成熟の早期化が認められます。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2011 年 8 月]、注意: PubMed:10988300 は、Met-119 から始まる分泌型アイソフォームの存在の可能性を報告しています。しかし、それらは実験的証拠を提供していない。機能:N-グリカンと O-グリカンの両方において、非還元性 N-アセチルガラクトサミン (GalNAc) 残基の 4 位への硫酸基の転移を触媒する。糖タンパク質ホルモンであるルトロピンとチルトロピンの生合成に必要であり、それらの炭水化物構造の硫酸化を媒介する。末端 GalNAcβ1、GalNAcβ2 に対してのみ活性である。コンドロイチンに対しては活性ではない。誘導:プリオン感染細胞ではダウンレギュレーションされる (17 倍)。類似性:硫酸基転移酵素 2 ファミリーに属する。組織特異性:主に下垂体で発現する。脳では、下垂体、小脳、延髄、橋、視床および脊髄で発現する。肺、脾臓、副腎、胎盤、前立腺、精巣、乳腺、気管で低レベルで発現します。

研究分野

画像データ



K562 細胞ライセートの CHST8 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



CHST8 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。